

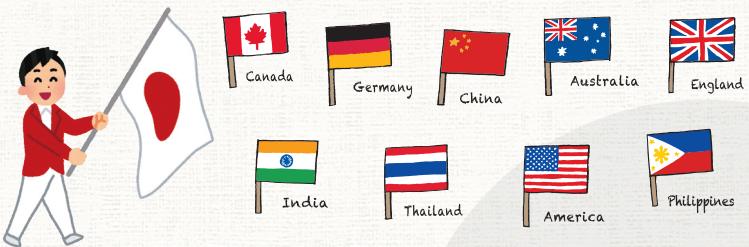


## 女性の健康コラム

# 後悔先に立たず…

皆さん、こんにちは。

公立八女総合病院 産婦人科 宮川三代子です。



今年の夏は、いよいよ東京オリンピックですね。世界中から日本に沢山のスポーツ選手や観光客が訪れます。私は、とても楽しみにしているのですが、日本にはオリンピック開催までにどうにかしないといけない感染症があります。

それは「風疹」です。実はこの風疹、2013年の流行以来(14,344人)減少傾向だったのが2018年は2,946人、2019年は11月10日までに2,260人が発症したと報告されています。日本の風疹は、海外旅行をして外国で風疹にかかってしまった人が、14から21日間の潜伏期間を経て日本で発症することがとても多いです。

この風疹患者さんたちが、妊娠初期の妊婦さんの前でくしゃみや咳をしただけで、妊婦さんに風疹がうつってしまい、その赤ちゃんが先天性風疹症候群になってしまう確率が50%もあります！恐ろしいですよね。先天性風疹症候群になると、流産や死産・早産、難聴、白内障、心臓の病気や、精神発達遅滞になってしまいます。

なので、2018年の10月、米疾病対策センターは風疹の免疫がない妊婦は日本には渡航しないようにと勧告を出しました。日本は、東京オリンピックまでに風疹に対する対策をなんとかしないと色々な国から渡航制限をされてしまう可能性があります。

それと、ご存知の方も多いと思いますが、実は、風疹感染拡大の原因となっているのは、39歳から56歳の男性です。なぜ、この年齢の男性かというと、この年齢層の男性は、風疹の予防接種を1回も受けたことがないからです。そのため、国を挙げてこの年代の男性に風疹抗体検査と予防接種の実施が推奨されています。

風疹抗体検査の結果で、十分な抗体がない人は、予防接種を受けることができます。

通常は、風疹抗体検査は4,000円、風疹予防接種は5,500円程度かかるところを全部無料で受けられます。

八女市では、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に今年の6月末にクーポンを発行しています。有効期限は、2020年3月までです。クーポン券を紛失した場合は、市役所の健康推進課で再発行していただけますので、健康推進課へ申し出てください。

お近くのほとんどの病院が、厚生労働省の受託医療機関になっています。



あなたの周りの39歳から56歳の男性を見かけたら、「風疹抗体検査受けた？」と聞いてみてください。特に海外旅行や海外出張に行かれる方は要注意です。

風疹には、かかったことがあると思っていても、「実はそれは麻疹(はしか)とか別の病気だった可能性があるらしいよ。あなたが風疹の予防接種を受けることで、大切な自分の子供や孫が死んじゃったり、耳が聞こえなくなったり、心臓が悪くなったりすることを予防できるんだよ。」って教えてあげてくださいね。

後悔先に立たず。人は、自分の周りに何か悪いことが起こってしまった後に、自分にできることがあったはずなのに、と後悔することが本当に多いですから。

読んでいただき、ありがとうございました。

お困り事がありましたら  
お気軽にご相談ください。



産婦人科医長 宮川三代子